

# あんどくりすの防災四季だより

第10回 放送日：2019.6.7（金）

パーソナリティ：あんどくりす

テーマ：続・豪雨対策



「命を守る」という大切なことに役立つのは、  
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどくりす」さんが、  
防災・減災の方法を楽しく導きます。

防災情報が入っても、  
なかなか避難できない日本人。

逃げるタイミングを逃さないように、  
マイ・タイムラインシートを作りましょう。



# ふりかえり

豪雨対策の続きのお話です。

先週は、  
「雨雲レーダーアプリ」の話や、  
「Yahoo! の河川水位情報」、  
「1時間に100mmの雨は大災害」とか、  
「積算雨量」についてお話ししました。

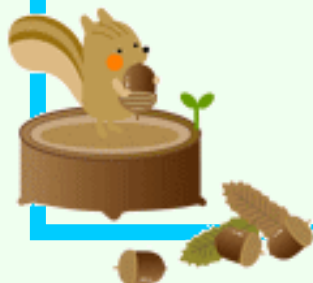
今回は、豪雨の際の  
避難についてお話しします。



**【補足】**  
Yahoo! の河川水位情報は、  
主だった川の情報のみの掲載です。

中小河川の情報については  
気象庁の危険度分布で  
調べることができます。

気象庁→防災情報→洪水警報の危険度分布。



# 情報の正しい意味・目的を知ろう



大雨や台風が来ると、  
避難勧告や、避難指示など、  
行政からいろいろな情報が出ます。

みなさんはその時に、  
「いつ逃げるか？」を  
決めていらっしゃいますか？



避難開始と言われても、

その時点で避難する人は  
非常に少ないんです。

避難準備とかと言われても、  
「準備だから、  
今から袋を用意して袋詰めから。」  
みたいな感じで。



# 高齢者等避難開始



たとえば雨がたくさん降って  
大雨に関する注意報が出た後に

避難準備や  
高齢者等避難開始というような  
情報が出ます。

これは、  
その段階で  
「高齢者の人は、避難を開始してください。」  
というご案内です。

そうでないと、  
逃げるのが困難になるからです。





# 避難勧告

勧告というのは、「お勧め」ということなので、

避難勧告が出た時には、  
逃げてほしいんです。

実際には  
西日本の豪雨のあとでも、

「避難指示まで、  
待たないといけないのかなと思った。」

というような声が、  
報告書に上がっていました。

避難指示が出てから逃げる。と、  
ギリギリ我慢してる方が多いのです。



# 避難指示



気象庁が出している  
危険度分布の説明では、

たとえば土砂災害についての  
「避難指示」というのは、

避難を完了している段階  
と書いてあるんです。



もう避難が終わっている段階。

避難が終わっていないけれども、  
家の中に残ってしまった人は、

もう、どうしようもありません。

家の2階の、  
斜面の反対側に行く(垂直避難)  
くらいしか逃げ場が無い！

というような、  
もう、ぎりぎりの状況だと思ってください。

だから実際は、  
早めに逃げなきゃいけない。



# 国民気質

早めに逃げろと言われても  
みなさんやっぱり、  
なかなか逃げません。



避難に関しては、  
アメリカとの対比がよく言われます。

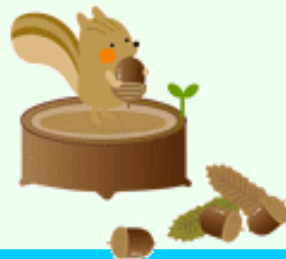
アメリカでは、  
ハリケーンが来るから、  
300万人逃げろ！と言われてたら、

600万人くらい逃げる。  
といった、  
過剰避難が問題になっていたりしています。



アメリカは、  
自分で考えて自分で行動する国。

ということで、  
なんとなくわかると思います。





台湾も  
過剰避難が問題になっています。

台湾はなぜ？ と思い、  
取材に行って聞いてみました。

台湾の人たちは、

「国に言われたら、ぜったい逃げる。」と、  
おっしゃっていました。





# 隣は何を…？

日本では、  
行政が勧告や指示を出しても、  
ほとんどの人が逃げません。

自分で考えても行動しません。

という事で、  
多くの人が逃げられませんでした。

行動を起こすポイントは、  
何だったのでしょうか？

隣の人が逃げなかったから、逃げなかった。  
隣の人が逃げたから逃げた。

などと、周りを見て判断していたのです。

親戚に言われたから逃げた。  
というような方もいらっしゃいました。



# 臨機応変の対応を！

高齢者等避難という時に、  
中学生が避難したら、

「高齢者じゃないからダメだろう」。  
などと言われ、追い返された。

という話を聞きました。

その時の規則や言葉に、  
正確に従おうとして

臨機応変に対応できない。  
ということも指摘されています。



# 早期避難



東京都の江東5区(※1)  
と言われる地域は、  
海拔0m地帯などが多いので、

「台風が来る3日前から避難しなさい。」  
とされています。

(※1)  
墨田区・江東区・足立区・葛飾区・江戸川区。  
大規模水害によって浸水する可能性がある区域。  
約250万人が居住。

海拔0m以下や、荒川・江戸川・隅田川などの  
大河川やその支川が多く集まる、  
東京東部低地帯。





伊勢湾台風(※2)と  
同じくらいの台風が襲来したら、

マンションの3階まで浸水する。



その後、水が引くまで2週間続く。

と、予想されているからです。

一時、4階以上に逃げてもダメです。

(※2)

1959年(昭和34年)9月26日、  
紀伊半島先端に上陸した台風15号。  
犠牲者は、河川の氾濫や高潮によって  
愛知・三重の2県に集中した。  
「災害対策基本法」制定の契機となるなど、  
防災対策の原点となった。



# 3日前避難の理由

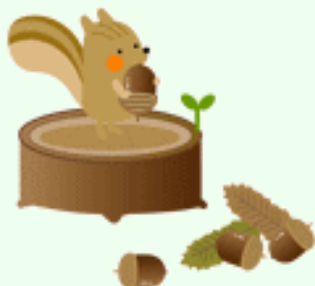


台風の前(72時間前)って、  
たぶん晴れているかもしれません。

「そんなにも早く、逃げろ！」  
とされています。

なぜか？ というと

危険な化学物質等が、  
流失したりする  
可能性があるからです。





例えば過去に、

ニューヨークでは  
ナトリウムが水と反応して爆発が起こった。  
とか、

高知でメッキ工場の青酸カリが流れた。  
という事件が1990年代に起こりました。

浸水したその場に留まるのは、  
必ずしも安全ではありません。

トイレも電気も使えなくなります。

ですので、  
「本当に早く逃げろ！」  
とされています



# 避難するための時間割

東京都が、  
「マイ・タイムラインシート」というものを作りました。

みなさんの手で、  
みなさん自身の「防災行動計画」を作るという物です。

東京都 マイ・タイムライン で、  
検索してみてください。

PDFをダウンロードして、  
作成できるようになっています。





6月中旬には、  
デジタル版が配信されます。

マイ・タイムラインが  
スマートフォンやパソコン上で  
作成できます。

都内のすべての  
児童・生徒さんたちには、

冊子が配布されます。

ぜひ注目してみてくださいねと思います。





# 作ってみよう マイ・タイムライン



マイ・タイムラインを見れば、  
判断の決め手に役立ちます。

何時の段階で逃げようとか、  
うちは高齢者がいる。  
身体の不自由な子どもがいる。

→ 早めに逃げよう！

などと、  
家族で相談しながら、  
作ってみてください。





災害時の「防災行動」チェックリストで

対応の漏れを防止したり、  
行動シールを時間軸に貼るなどして、

みなさんそれぞれの  
避難対策を作ることができます。



いざという時に  
避難のタイミングを逃さぬように。

大事なことは、  
「自分の命は自分で守る」という意識です。



# ブラック校則募集



高齢者等避難という時に、  
中学生が避難したら、追い返された。  
という話をしました。

規則が厳しすぎて、  
学校側はそれを守る事ばかりに気を取られ、  
臨機応変に対応できない。  
というような事を見聞きます。

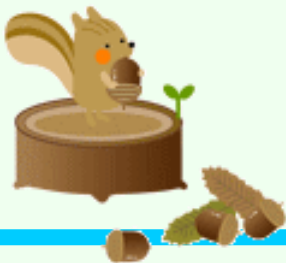


皆さんの通う学校や、卒業した学校にも、  
厳しかったり、ハテナ？ な、  
変わった校則がありませんか？

こんな校則があります。  
あった！ という方は、  
ぜひ教えていただければと思います。

お聞きの放送局、FM西東京のホームページに、  
メッセージフォームがあります。

こちらからお気軽にメッセージを  
お寄せいただければと思います。



TEXT/はしも